

令和2年7月2日

保護者の皆様
関係各位

新型コロナウイルス感染への対応について 《第14報》
～「新しい生活様式」における熱中症予防行動について～

校長 石川 博朗



新型コロナ感染予防を妨ぐために「新しい生活様式」として、一人一人が感染防止の三つの基本である 1. 身体距離の確保 2. マスクの着用 3. 手洗いや「三密…密集、密接、密閉、(+大声)」を避ける等の対策を取り入れた生活様式を実践することが、大人にも子供にも求められています。

これから本格的な夏を迎えるにあたり、皆様には、例年よりも一層熱中症にもご注意ください。また、新型コロナウイルスの感染拡大をふせぐための「新しい生活様式」における熱中症予防に関する指導ポイントについてお知らせいたします。

(1) マスクの着用について

マスクは飛沫の飛散予防に有効で、本校でも子供たち一人一人の基本的な感染対策として着用をお願いしています。但し、マスクを着用していない場合と比べると心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度が上昇するなど、身体に負担がかかることがあります。したがって高温や多湿といった環境の下でのマスクの着用は、熱中症のリスクが高くなる恐れがあるので、屋外で十分な距離(少なくとも2メートル以上)が確保できればマスクを外すようにします。

本校では、登下校時および在校時のマスク着用、感覚1メートルの原則は変更しませんが、熱中症が心配される6月から10月の期間中は、次のように指導することにいたします。

- ①登下校時に暑さを感じる場合はマスクを外してもかまいません。但し人との距離は2m以上とります。
- ②屋外での体育の学習や校外活動、休み時間にはこれまでと同様にマスクを外してもかまいません。但し人との距離は2メートル以上とります。

(2) 室温管理とこまめの換気について

本校では、通常、校舎内の教室及び体育館の全館空調管理を行っています。この期間は、冷房運転を終日運転しています。感染予防のため教室と廊下の窓を開けて換気を行っていますが、6月中旬の教室内の熱中症指数(WBGT で日中3回計測)は、すべて安全値を維持し良好でした。

(3) 適切な給水について

校内での給水は、水飲み場での水道水を原則とし、蛇口や流しは定期的に消毒をしています。登下校時や体育の学習時の熱中症対策として給水用の水筒を持参して飲用することを許可しています。

- ①水筒の内容は、水、茶類、経口補水液、スポーツドリンクに限ります。(学校医の指導に基づく)
- ②水筒は毎日洗浄して持ってきます。
- ③友達と回し飲むことは禁止します。
- ④水筒は、指定された場所に安全、衛生に気をつけ、指定された場所に保管します。

(4) 体調管理について

新型コロナウイルス感染症や熱中症の予防のためには、日頃の体調管理が必須の要件です。早寝・早起き・朝ごはんの生活習慣の確立をお願いします。

- ①学校全体として睡眠時間の不足により不調を訴える子供がとてども気になります。また、遅刻が常態化している子供が10人以上います。理由を質すと「深夜までユーチューブ等のSNSサイトの視聴やゲーム対戦をしていて就寝時間が遅くなり寝坊した」と答える子供が少なくありません。学校再開後も生活リズムが確立せずに、子供たちは苦しんでいます。改めてご家庭での指導をお願いします。

学校が再開して1か月間が経ちました。当初の段階的な再開を経て完全再開、そして2か月目に入ります。新型コロナウイルス感染症の第2波の感染拡大に最大限に備えながらも、学校は力強く前に進んでいます。これからもどうぞこれまでと同様に、ご理解とご協力をお願いいたします。